



実家よりも実家じじっか

血縁のない大家族づくりーじじっかー

事業計画書

一般社団法人umau.

2024年度

01	事業概要	1
02	プロジェクト説明	2
03	事業計画	3
04	実行計画	4
05	収支計画	5

当法人のプロジェクト(活動)として、主に以下の4つを推進しています。



じじっかの週末

毎週末、誰でも帰って来れる居場所づくり

金曜日▶10:00-20:00(lunch & dinner)

※第2は14:00まで

土曜日▶10:00-20:00(lunch & dinner)

日曜日▶10:00-14:00(lunch)



リリボンマーケット

空き倉庫を借りて改装し、大きくマーケット展開をして行く。(2024年7月スタート予定)

金・土曜日▶10:00-20:00

日曜日▶10:00-14:00



自分流教育

子ども・若者への欲望形成を行う機会創出

・コクバン教室 : 毎週土曜日10:30-12:00

・じじっか塾 : 2024年8月スタート予定

・自分流計画 : 限定10名募集(第一期生)

・大家族ステージ: 2024年11月スタート予定



シェアメニュー創造

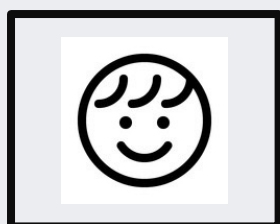
大家族みんなで支え合うメニューづくり

2024年5月～スタート予定

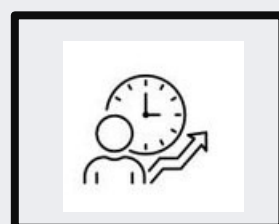
第3土曜日19:00-20:00(カカソク時間)

運営者・利用者問わず、みんなで会議を行い
協力しながら家庭にも役立つメニューづくり

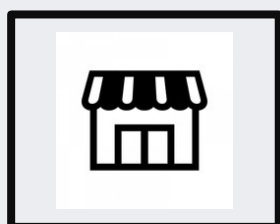
じじっかの事業構想（2024.4～2025.3）

**じじっか教育**

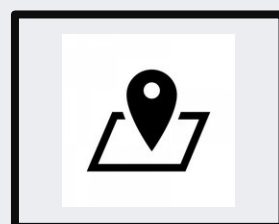
「教育」と分野に踏み出していく。学校教育と福祉支援との狭間を埋めるものを、今後「じじっか教育」という視点で展開していく。今まで試行してきた取り組みから狭間の教育スタイルを構築していきたい。

**シェアメニュー**

みんなで支え合う「シェアメニュー」の構築。大家族みんなで考えながら各家庭にも役立ちながら、じじっかの運営にも繋がる支え合える物事をみんなで生み出していく。これらが今後の事業への展開に繋がったり、社会の隙間を埋める検証にも繋がりたい。

**マーケット展開**

リリボンマーケットを拡大し居場所の継続や、地域連携、貧困脱出、子どもの健康、エコ活動などの循環をできるプロジェクトとして、スタートする。周知や土台づくりを徹底し、事業展開へ向けての準備期間とし仕組みを構築していく。

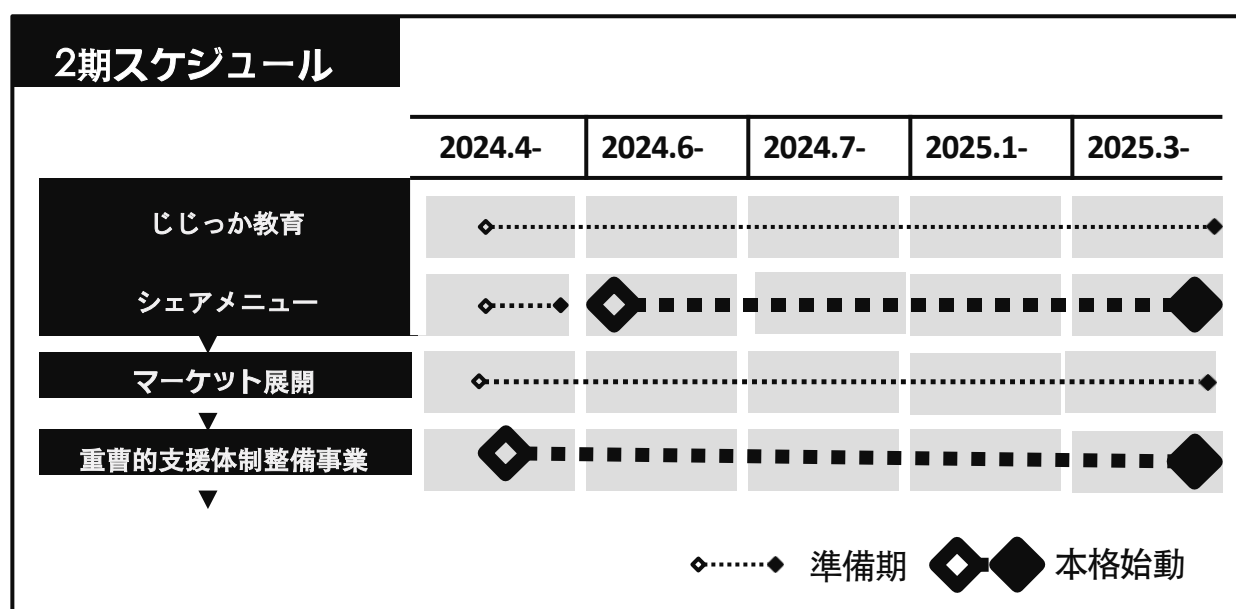
**重層的支援体制整備事業**

2021年から、当団体の代表が、代表を務めた重層的支援体制整備事業において、参加支援事業を久留米で活動する15団体との連携のもと、プロポーザルに挑戦。採択された場合には、地域との連携が強まり、新たな動きが派生して行くと考えている。

2024年度を以下の計画で行なっていく。

	新規予定事業	時期
1	じじっか教育	2024.4-▶ 試行期
2	シェアメニュー	2024.5-▶ カカソフ時間開始 2024.8-▶ シェア開始
3	マーケット展開	2024.7-▶ マーケット開始 2025.1-▶ 循環の研究と実践
4]重層的支援体制整備事業	2024.4-▶ 事業開始 2025.3-▶ 報告書作成

2024年度を以下の計画で行なっていく。



2024年度(4月-3月)の収支計画

2024収入概算

収入	¥31,460,000	助成金	¥27,260,000-
		寄付	¥1,200,000
		自主事業	¥3,000,000

助成金・・・久留米市補助金事業/休眠預金等の民間助成事業の採択

寄付金・・・会費/単発/年末(3つの寄付金)

自主事業・・・登壇謝金/場所レンタル/企画費等

2024支出概算

支出	¥30,460,000	人件費	¥19,360,000
		材料費	¥1,600,000
		消耗品/備品/イベント/ 雑費	¥5,000,000
		その他固定費	¥4,500,000

人件費・・・正社員/パート/外注/謝金

材料費・・・親子食堂(年間約240回分)/お弁当配達

消耗品等・・・調理器具/トイレトペーパー/インク代/教材/イベント運営等

その他固定費・・・家賃/光熱費/インターネット/浄水器等

当収支計画では、過去3年間の平均収益・支出を元に、今後の事業展開の想定にて、計算しています。



実家よりも実家じじっか

血縁のない大家族づくりーじじっかー

事業報告書

一般社団法人umau.

2024年度

01	事業成果	1
02	収支報告	2

2024年度の計画に基づく実践報告。

	新規予定事業	結果
1	じじっか教育	2024.06-2025.03 「自分流計画ー3人4脚project」の実施。 15歳から25歳までの10名の若者に対し8ヶ月間のプログラムを実施。 2月に修了式を経て第1期生となった。 「なな親」と呼ぶ地域の応援団も11名となり寄付金により、若者の計画費を得ることもできた。
2	シェアメニュー	2024.04-2025.03 筑後川コミュニティ財団の休眠預金事業内の1プロジェクトとして推進している毎月1回の「カカソク時間」そこで中学生から大人まで利用者も含むすべての人達と「支え合えるメニュー」をディスカッションしながら進める。 ①皿洗い②お風呂③台拭き④忘れ物のメニューが誕生し、子ども達もみんな実践している。
3	マーケット展開	2024.07-2025.03 7月に、パーク内で実践していたミニリリボンマーケットを空き倉庫にて展開。平日もオープンできる計画で進めていたが、現在週末のみ。毎日のように届く寄付品の置き場が狭く現在も試行錯誤中。更に、じじっかに来る人達以外にも活用してもらえるように検討中。
4	重層的支援体制整備事業	2024.06-2025.03 別団体「AU formal実行委員会」にて中村が代表を務め、自治体・企業・社協・他団体との連携を行いながら、「叶え合う支援」を推進。随時じじっかとしても個別支援に携わりながら地域との連携の輪が広がった。

2024年度(4月-3月)の収支報告

2024収入概算

収入	¥29,941,152	助成金	¥27,260,000- ▶ ¥25,957,500-
		寄付	¥1,200,000- ▶ ¥3,067,683-
		自主事業	¥3,000,000- ▶ ¥915,969

助成金・・・久留米市補助金事業/休眠預金等の民間助成事業の採択

寄付金・・・会費/単発/年末(3つの寄付金)

自主事業・・・登壇謝金/場所レンタル/企画費等

2024支出概算

支出	¥24,774,733	人件費	¥19,360,000 ▶ ¥15,247,627
		材料費	¥1,600,000 ▶ ¥1,486,705
		消耗品/備品/イベント/ 雑費	¥5,000,000 ▶ ¥4,921,612
		その他固定費	¥4,500,000 ▶ ¥3,118,789

人件費・・・正社員/パート/外注/謝金

材料費・・・親子食堂(年間約240回分)/お弁当配達

消耗品等・・・調理器具/トイレトペーパー/インク代/教材/イベント運営等

その他固定費・・・家賃/光熱費/インターネット/浄水器等

当収支計画では、過去3年間の平均収益・支出を元に、今後の事業展開の想定にて、計算しています。